

上山市「ゼロカーボンシティ」

～2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指して～

近年、地球温暖化が原因とみられる異常気象が世界中で発生しており、本市においても集中豪雨など、未曾有の災害が頻発しております。

2015年に合意されたパリ協定では、世界の努力目標として「産業革命からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」と掲げられました。その後、2018年に公表されたIPCC（国際連合の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

これらの目標達成に向け、日本政府においても2020年10月に「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルをめざすこと」を宣言しました。

上山市といたしましても、これまで先駆的に取り組んでまいりました「上山型温泉クアオルト事業」の3つの柱の一つに「環境」を位置づけ、地球温暖化対策など脱炭素に向けた取組を進めてまいりました。

今後も市民や事業者と一体となって持続可能なまちづくりを進めるとともに、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指し、ここに「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを表明します。



令和4年6月10日

上山市長 横 戸 長兵衛